

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
1	酒井 三郎	発刊にあたって	2	昭和63年	1988
1	下津谷 達男	『鎌ヶ谷市史研究』の発刊によせて	3	昭和63年	1988
1	川戸 彰	佐津間発見の題目板碑をめぐって—本土寺系題目板碑を考える—	4-18	昭和63年	1988
1	佐藤 武雄	鎌ヶ谷市と周辺地域の塚の諸相	19-32	昭和63年	1988
1	大谷 貞夫	金ヶ作陣屋考	33-52	昭和63年	1988
1	小川 浩	農民芸能の伝承分布試論—千葉・埼玉を中心に—	53-81	昭和63年	1988
1	坂本 吉宏	鎌ヶ谷市内の清水	82-84	昭和63年	1988
1	事務局	市史編さんのあゆみ	85-86	昭和63年	1988
2	下津谷 達男 佐藤 武雄	鎌ヶ谷市内遺跡の考古学的調査史	2-14	平成元年	1989
2	山田 友治	根郷貝塚出土の蔵骨器について	15-22	平成元年	1989
2	酒井 右二	元禄地方直し施行期における大名領旗本領の割替と御林渡し —下総の例から—	23-42	平成元年	1989
2	上山 和雄	統計から見た戦前の鎌ヶ谷	43-62	平成元年	1989
2	坂本 吉宏	金石文の数が語る鎌ヶ谷の歴史	63-73	平成元年	1989
2	犬塚 俊雄	市内の旧石器時代遺跡に関する予報	74-83	平成元年	1989
2	石川 あひ	私の見た・聞いた昭和史① 延命寺・あひおばあちゃんのむかし語り	84-88	平成元年	1989
3	野々山 龍郎	〈歴史随想〉私と鎌ヶ谷の歴史	2-5	平成2年	1990
3	横田 光雄	〈研究論文〉戦国期北総の流通	6-21	平成2年	1990
3	天下井 恵	〈研究論文〉開墾局仮役所及び初富会社(授産方) —初富入植者への支配について—	22-41	平成2年	1990
3	藪原 敏吏	〈研究報告〉本多氏下総領の成立について —「本多四公日記」と「家譜」の紹介をかねて—	42-58	平成2年	1990
3	小倉 博	〈史料紹介〉東葛・印旛大師講の組合台帳	59-77	平成2年	1990
3	田村 喜平	私の見た・聞いた昭和史② 初富・喜平さんの子どもころ	78-81	平成2年	1990
4	佐倉 朔	根郷貝塚第2次調査で出土した人骨と馬骨	2-12	平成3年	1991
4	松下 邦夫	牧士三橋・清田両家旧蔵の小金牧関係絵図について	13-21	平成3年	1991
4	小池 康久	鎌ヶ谷宿の交通と助郷争論	22-39	平成3年	1991
4	渡辺 嘉之	耕地整理事業と農家諸階層 —千葉県東葛飾郡八幡町外九ヶ町村耕地整理組合を事例として—	40-65	平成3年	1991

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
4	桜井 健治	〈史料紹介〉「農事日記」について・上	66-83	平成3年	1991
4	座談会 〔片山千代・中村麗子・ 小金谷館長〕	私の見た・聞いた昭和史③ 村・町役場時代の思い出話	84-92	平成3年	1991
5	下津谷 達男 佐藤 武雄 犬塚 俊雄	中沢貝塚発掘調査史	2-21	平成4年	1992
5	中山 吉秀	鎌ヶ谷市及び周辺地域の中世城郭について	22-55	平成4年	1992
5	白樫 亨	私にとっての鎌ヶ谷—特に市政施行前後の鎌ヶ谷の教育—	56-72	平成4年	1992
5	大島 暁雄	鎌ヶ谷における宗教的「講」について	73-84	平成4年	1992
5	横田 光雄	新発見の武田家朱印状と加藤清正判物・黒印状について —鎌ヶ谷、市原家所蔵文書—	85-101	平成4年	1992
5	桜井 健治	〈史料紹介〉「農事日記」について・下	102-106	平成4年	1992
6	新山 恒雄	鎌ヶ谷市初富向山馬込の植生	2-15	平成5年	1993
6	新山 恒雄	クロマツの樹齢判定について	16-25	平成5年	1993
6	吉田 和彦	渋谷総司の復権—昭和初期の歴史意識に関する一考察—	26-37	平成5年	1993
6	小林 稔	繭玉と成木・成らせ餅—鎌ヶ谷市年中行事の位置付けに向けて—	38-57	平成5年	1993
6	立野 晃	〈史料紹介〉鎌ヶ谷市域からの出羽三山登拝者 —羽黒山麓手向宿坊神林家所蔵「関東檀那場御祈禱帳」より—	58-70	平成5年	1993
7	新山 恒雄	鎌ヶ谷市の自然—植物（I）—	1-28	平成6年	1994
7	梶ヶ山 真里 馬場 悠男	中沢貝塚出土人骨	29-41	平成6年	1994
7	小河原 香	中世下総国における日蓮宗の展開について	42-51	平成6年	1994
7	渡辺 嘉之	戦前期鎌ヶ谷梨に関するミニ・レポート—『鎌ヶ谷梨の年輪』解説にかえて—	52-57	平成6年	1994
7	高津 孝	鎌ヶ谷梨の年輪	58-75	平成6年	1994
7	福岡 直子	民俗における調査対象としての植物—軽井沢・小金谷勤治家を例として—	76-89	平成6年	1994
7	事務局	光円寺の行事について	90-93	平成6年	1994
8	大野 景德	鎌ヶ谷市の植物について	1-13	平成7年	1995
8	森本 岩太郎 高橋 譲	鎌ヶ谷市根郷貝塚第一次調査出土の人骨について	14-25	平成7年	1995

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
8	犬塚 俊雄	根郷貝塚第一次調査人骨の出土状態について	26-33	平成7年	1995
8	小川 浩	甘藷栽培小史覚え書きと「甘藷苗床記録」	34-59	平成7年	1995
8	神山 知徳	〈史料紹介〉明治四年「鎌ヶ谷村組合勸農方御用手扣」	60-117	平成7年	1995
8	天下井 恵	〈史料調査報告〉市岡哲郎家文書を訪ねて	118-119	平成7年	1995
9	小倉 博	江戸時代の民間療法—天保三年の「経験千万」から—	2-29	平成8年	1996
9	領塚 正浩	ジェラード・グロート神父と日本考古学研究所～失われた考古学史を求めて～	49-30	平成8年	1996
9	小川 義裕	鎌ヶ谷におけるセイタカアワダチソウの分布と生態	60-50	平成8年	1996
9	山崎 秀雄	鎌ヶ谷市の昆虫—鎌ヶ谷市の昆虫調査事始め—	83-61	平成8年	1996
10	天下井 恵	初富開墾人友七の生涯	2-36	平成9年	1997
10	栗田 尚弥	一九九六(平成八)年度渡米調査報告	37-51	平成9年	1997
10	桜井 健治	〈資料紹介〉覚書「遠い初富の昔！！」について	52-56	平成9年	1997
10	平岡 善治	〈資料〉遠い初富の昔！！	57-77	平成9年	1997
10	田附 治夫 衣川 友康	鎌ヶ谷市付近に露出する地層について —調査研究の現状と今後の課題—	100-78	平成9年	1997
10	菊地 順子 綾見 美恵子 小林 美喜子 松村 富貴子	〈実践記録〉社会科学習「初富をひらいた人々」 —小学校4年生地域教材開発事例—	120-101	平成9年	1997
10	下津谷 達男	〈小特集〉市史編さんのいま・むかし① 中沢貝塚第一次調査をめぐる	121-140	平成9年	1997
10	下津谷 達男 村田 一二 長尾 利男 野々山 龍郎 横山 謙次	〈小特集〉市史編さんのいま・むかし② 《市史編さん審議会委員の声》 どろんこ道からの脱却 着実な市史研究の歩みと今後の願い 資料館の縄文スター「2号人骨」 市史編さんに望むこと 古文書修補と『鎌ヶ谷市史』	141-142 143-145 146-147 148-149 150-152	平成9年	1997
10	事務局	〈小特集〉市史編纂のいま・むかし③ 市史編さん事業四十年のあゆみ	153-160	平成9年	1997
11	神山 知徳	長寿講について—最幕末田中藩財政再建仕法から民間金融講へ—	2-23	平成10年	1998
11	堀越 正行	中沢貝塚の学史点検	24-30	平成10年	1998
11	栗田 尚弥	松戸飛行場開設のころ—辻忠尾氏に聞く—	47-31	平成10年	1998
11	三石 宏	一本松遺跡に生きた人々の暮らし	72-48	平成10年	1998

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
11	浅間 茂	動物(哺乳類)アンケート調査から	84-73	平成10年	1998
11	栗田 尚弥	1997(平成9)年度渡米調査報告	88-85	平成10年	1998
12	小宮 孟	鎌ヶ谷市一本松遺跡出土の縄文犬骨	1-16	平成11年	1999
12	小滝 一夫	鎌ヶ谷市内のハンノキ湿地林—湿地の存在意義を考える—	17-27	平成11年	1999
12	小川 義裕	授業時間外にも、楽しい理科をめざして	28-45	平成11年	1999
12	かわ・水・みどり	川をたずねて	46-80	平成11年	1999
12	渡辺 嘉之	千葉大学園芸学部所蔵の戦前期東葛飾郡関係史料	81-86	平成11年	1999
13	天下井 恵	開墾局知事北島秀朝	1-38	平成12年	2000
13	立野 晃	〈調査報告〉「下総牧開墾局知事北島秀朝等旅宿看板」の発見から修復までの経緯について	39-45	平成12年	2000
13	武田 昭子	下総牧開墾局知事北島秀朝等旅宿看板保存修理報告	62-46	平成12年	2000
13	堀越 正行	中沢貝塚の学史点検(補遺)	63-68	平成12年	2000
13	小池 康久	〈鎌ヶ谷市郷土資料館第15回歴史講演会録〉木下街道と鎌ヶ谷宿の盛衰	69-89	平成12年	2000
13	[聞き手]栗田尚弥・立野晃	鉄道連隊での生活—飯島豊氏に聞く—	90-111	平成12年	2000
13	白樫 亨	〈史料紹介〉鎌ヶ谷小学校所蔵の「学籍簿」	112-120	平成12年	2000
14	天下井 恵	下総牧開墾をめぐる人物像	1-28	平成13年	2001
14	神山 知徳	鎌ヶ谷村における明治初年の村方騒動 —実生木一件とその後の村政の動向をめぐって—	29-51	平成13年	2001
14	渡辺 嘉之	〈研究ノート〉第二次大戦以前の農村における木材業関係諸職 —大野宗蔵氏からの聞き取りを中心に—	52-64	平成13年	2001
14	栗田 尚弥	松戸飛行場と「帝都」防衛	65-89	平成13年	2001
14	白樫 亨	戦争直後の鎌ヶ谷小学校の社会科教育実践	90-119	平成13年	2001
14	吉田 和彦	鎌ヶ谷村農地改革—未完の農業革命の歴史意識—	120-138	平成13年	2001
14	新山 恒雄	鎌ヶ谷市の自然—植物(Ⅱ)—	145-139	平成13年	2001
14	辻村 真弥	〈資料紹介〉Ⅰ市内出土の縄文土器について Ⅱ松戸市六実の旧不動堂資料について— 文明十七年銘板碑を中心に—	154-146	平成13年	2001

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
15	座談会 〔戸邊慶成・下津谷達男・横川好富・富樫泰時・佐藤武雄・塩野博・村田一二〕	〈座談会〉中沢貝塚第一次発掘調査を振り返って	1-36	平成14年	2002
15	川戸 彰	白井市名内東光院地藏菩薩立像の胎内銘をめぐって	35-50	平成14年	2002
15	中山 文人	佐津間の中世	51-72	平成14年	2002
15	栗田 尚弥	中央航空機乗員養成所(松戸高等航空機乗員養成所)について	73-91	平成14年	2002
15	大内 千年	都立小松川高校所在の中沢貝塚出土土器について	110-92	平成14年	2002
15	6年1組 齊藤雄二 6年2組 大富祥子	南部小学校6年生 社会科歴史授業「縄文時代の遺物に触れて」 —中沢貝塚出土の土器・石器を使った授業—	120-111	平成14年	2002
16	天下井 恵	小金牧絵図から見る鎌ヶ谷市域の変遷	1-26	平成15年	2003
16	神山 知徳	明治町村制下における鎌ヶ谷村の成立・展開と学校運営 —大正～昭和初期の学校問題の前提として—	27-51	平成15年	2003
16	話者〔皆川清蔵〕 聞き手〔飯田鼎・立野晃・栗田尚弥〕	シベリヤ抑留を語る	52-70	平成15年	2003
16	小川 浩	墓塔が語る村落の歴史と文化—栗野地区の事例を中心に—	71-82	平成15年	2003
16	柴田 徹	鎌ヶ谷市内の縄文時代遺跡から出土した石器の石材について	132-83	平成15年	2003
16	犬塚 俊雄	大堀込遺跡出土の土偶	139-133	平成15年	2003
17	神山 知徳	大正後期～昭和初期の学校問題と地域秩序の変容 —鎌ヶ谷尋常高等小学校設置問題の紛糾とその後の経緯を事例に—	1-24	平成16年	2004
17	白樫 亨	学校宿直制度	25-44	平成16年	2004
17	渡辺 嘉之	〈研究ノート〉第二次大戦前の千葉県東葛飾郡鎌ヶ谷村佐津間における交通機関の発達と商品作物の展開—石井清一氏に聞く—	45-64	平成16年	2004
17	大内 千年	都立小松川高校所在の中沢貝塚出土土器について(補遺)	70-65	平成16年	2004
17	原田 昌幸	鎌ヶ谷市大堀込遺跡出土の土偶について —縄文時代中期後半の土偶に関する新知見—	80-71	平成16年	2004
18	天下井 恵	習志野原御猟場と鎌ヶ谷市域	1-22	平成17年	2005
18	横田 光雄	翻刻『長家聞書』	23-44	平成17年	2005
18	松本 由佳	〈史料紹介〉文化八年「狼一件御用書留」	45-67	平成17年	2005

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
18	吉田 和彦	〈史料紹介〉昭和初期朝鮮土地経営ならびに学校教育費寄付関係史料 — 渋谷総司の贈位に関連した寄付行為について—	68-75	平成17年	2005
18	皆川 武志	道野辺の思い出	76-92	平成17年	2005
18	小川 浩	皆川武志氏著『道野辺の思い出』について	93-102	平成17年	2005
18	望月 明彦	鎌ヶ谷市内遺跡出土黒曜石の産地推定	118-103	平成17年	2005
18	新山 恒雄	クズ(葛)植物の生態について	138-119	平成17年	2005
18	小出 達雄	「栗野の森」の自然の保存について	150-139	平成17年	2005
19	小野 英夫	戦時経済体制下の商業組合について— 鎌ヶ谷地区商業組合を事例として—	1-18	平成17年	2005
19	栗田 尚弥	「帝都」防衛からシロイ・エアース、そして自衛隊基地へ — 松戸・藤ヶ谷飛行場小史—	19-41	平成17年	2005
19	白樫 亨	小学生の戦争体験	42-50	平成17年	2005
19	塩川 広之	〈研究ノート〉鉄道聯隊の基本像	51-67	平成17年	2005
19	神山 知徳	〈史料紹介〉戦時下の実業学校について — 「興亜農林学校設置認可関係文書」を事例に—	68-81	平成17年	2005
19	(解説) 栗田 尚弥	〈史料紹介〉笠川亨家旧蔵 軍事郵便集(昭和期)①	82-102	平成17年	2005
19	倉田 智子	鎌ヶ谷と昭和放水路	132-103	平成17年	2005
20	神山 知徳	戦後人口急増期における首都近郊の学校問題 ～ 鎌ヶ谷市域における分校の再独立過程を事例に～	1-27	平成19年	2007
20	天下井 恵	習志野原と鎌ヶ谷 [補足] 明治天皇の習志野原賜名	28-49	平成19年	2007
20	横田 光雄	近世長氏と始祖長谷部信連への霊神号免許	50-77	平成19年	2007
20	(解説) 栗田 尚弥	〈資料紹介〉満州国国境警察隊員笠川門治書簡	78-87	平成19年	2007
20		〈史料紹介〉笠川亨家旧蔵 軍事郵便集(昭和期)②	88-98	平成19年	2007
20	大内 千年	鎌ヶ谷市向山No.1遺跡出土の縄文時代後期・「切断壺形土器」	112-99	平成19年	2007
20	事務局	市史編さん事業で調査・整理を行った歴史資料について	113-120	平成19年	2007
21	白樫 亨	戦後・新制鎌ヶ谷中学校の誕生	1-14	平成20年	2008
21	宮崎 珍延	明治期における鎌ヶ谷地域への郵便逡送に関する試論	15-34	平成20年	2008
21	峰高 悠子	赤報隊幹部渋谷総司の生涯	35-52	平成20年	2008
21	佐藤 未紗音	現在に残る初富開墾の記憶— 復活した土地記念講—	53-71	平成20年	2008
21	渡辺 嘉之	鎌ヶ谷市域とその周辺地域の旅— 近世～近代の旅日記の分析—	72-90	平成20年	2008

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
21	池田 真由美	人は何故旅するのか—明治三年の通行者記録から—	91-120	平成20年	2008
21	(松本由佳)	房総の牧関係文献目録	121-133	平成20年	2008
22	天下井 恵	小金中野牧・下野牧の構造と野馬捕	1-26	平成21年	2009
22	後野 真弥	下総小金中野牧跡の野馬土手についての一考察	27-38	平成21年	2009
22	神山 知徳	〈研究ノート〉高度成長下における人口急増期の鎌ヶ谷町をめぐる諸問題～「秘東葛飾郡鎌ヶ谷町 行政総合調査報告書」(昭和三十九年九月)からみた鎌ヶ谷町～	39-55	平成21年	2009
22	松永 昌三	〈書評〉『鎌ヶ谷市史』資料集17(近・現代 聞き書き)	56-60	平成21年	2009
23	天下井 恵	小金牧開墾の初発構想と初富農舎	1-20	平成22年	2010
23	吉田 和彦	渋谷総司の復権—叙述と記憶のポリテクス—	21-46	平成22年	2010
23	小野 英夫	帝国在郷軍人会鎌ヶ谷村分会の組織と活動について—昭和一〇年頃を中心に—	47-60	平成22年	2010
23	栗田 尚弥	東葛飾地方の航空隊と「帝都」防衛①	61-78	平成22年	2010
23	白樫 亨	文集『丘の子ら』等にみる鎌ヶ谷の子ども	79-90	平成22年	2010
24	小菅 将夫	東林跡型ナイフ形石器の再検討	1-21	平成23年	2011
24	大塚 宜明	東林跡遺跡Ⅶ層石器群における剥片剥離技術の検討	22-46	平成23年	2011
24	米田 穰	鎌ヶ谷市根郷貝塚・中沢貝塚出土人骨の同位体分析	47-69	平成23年	2011
24	栗田 尚弥	東葛飾地方の航空隊と「帝都」防衛②	70-57	平成23年	2011
24	松本 由佳	〈史料紹介〉明和～寛政期に作成された四冊の鎌ヶ谷村明細帳	90-71	平成23年	2011
25	小川 浩	鎌ヶ谷市域の農具—鍬の形体・用途の分析— 写真および表解説 写真図版 郷土資料館所蔵主要民具(～平成15年度)	1-28 29-34 35-66 67-84	平成24年 平成24年 平成24年 平成24年	2012 2012 2012 2012
26	佐々木 克哉	近世下総台地の牧御林と藩御林—樹種・管理・利用の比較から—	1-22	平成25年	2013
26	高見澤 美紀	小金牧における将軍鹿狩と周辺村落—挙意図とその舞台—	23-44	平成25年	2013
26	天下井 恵	宮内庁所蔵写真「旧牧開墾地」について	45-60	平成25年	2013
26	宮本 万理子	小金牧の景観変容とその解釈	85-61	平成25年	2013
27	石神 裕之	鎌ヶ谷市の近世庚申塔—かたちと銘文からみる庚申信仰の展開—	1-21	平成26年	2014
27	後野 真弥	〈資料紹介〉新規の市指定文化財について—「栗野庚申講」と「栗野庚申塔群」—	22-28	平成26年	2014
27	(事務局)	〈史料紹介〉下総国千葉郡北柏井村・川口家文書「御用留」鎌ヶ谷市域関係記事	29-56	平成26年	2014

『鎌ヶ谷市史研究』総目次（平成28年6月1日現在）

号数	執筆者	タイトル	ページ数	刊行年	西暦
27	大関 真由美	〈史料紹介〉下総国千葉郡北柏井村・川口家文書について	57-65	平成26年	2014
27	松丸 信治・大内 千年	〈資料紹介〉鎌ヶ谷市大境No.2遺跡採集の縄文時代晩期土偶について	76-68	平成26年	2014
27	唐沢 孝一	谷地川とその周辺の鳥類	88-77	平成26年	2014
28	吉田 伸之	〔講演録〕下総と江戸を結ぶ―利根川・江戸川水系の舟運と薪―	1-25	平成27年	2015
28	栗田 尚弥	米軍のなかの白井基地	26-43	平成27年	2015
28	天下井 恵	〔史料紹介〕栗野村・佐津間村野馬方御用留	44-87	平成27年	2015
28		〔近・現代 回顧録・聞き書き〕近・現代 回顧録・聞き書きについて	88、89	平成27年	2015
28	森本 昇	木造校舎が消えるころ―人口急増期を過ぎた新米中学教師の体験記―	90-112	平成27年	2015
28	下(倉持)みち子	アジア大会に出場した鎌ヶ谷出身女子走り幅跳び選手のあゆみ	113-133	平成27年	2015
29	鈴木 忠司	東林跡遺跡上層ムラの遺物分布	1-26	平成28年	2016
29	小川 浩	聞き書き・農鍛冶屋―寄贈された民具―	27-36	平成28年	2016
29	荒木 秀登	鎌ヶ谷市のシダ植物	37-52	平成28年	2016
29	手塚 雄太	市町村における歴史的公文書保存管理の現状と課題―千葉県と近隣都県の比較から―	53-76	平成28年	2016
29		千葉県内博物館等における歴史的公文書保存管理に関わるアンケート集計結果	77-86	平成28年	2016
29	山本 あづさ・松本 由佳	〔史料紹介〕赤報隊復権運動関係史料1―相楽総三遺族 木村亀太郎書簡―	110-87	平成28年	2016